

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁目1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 野村 壮吾

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/nomura/>

E-mail : nomura@rid2640g.com

会長: 畑中一辰 幹事: 藤永 誉 広報委員長: 吉村博勝 編集者: 中川 澄



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2024年11月22日(金)第2059回

- 卓話 「自己紹介」
- 卓話者 会員 杉山 芳則
- 今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」
「バースデーソング」
- 入会式 佐藤 智広 新会員
- お客様の紹介・出席報告・会長の時間・
委員会報告・幹事報告・SAA報告
- 会員・奥様誕生祝い(11月度)
鶴 啓之会員 田口 隆会員
- 結婚記念祝い(11月度)
米澤邦明会員 中田 学会員
塩見 守会員 三上尚嘉会員
- 皆出席表彰(11月度)
池田茂雄会員(第42回)

次回の例会

2024年11月29日(金)第2060回

- 卓話 「ロータリー青少年交換留学生から
ロータリアンへ」
- 卓話者 田邊 樹希 様(堺RC)
- 紹介者 ロータリー財団委員長 嶽盛 和三

前回までの例会
2024年11月17日(日)第2058回
「2024-2025年度 RI 第2640地区大会」
於: スターゲイトホテル関空エアポート

<11月17日(日)の出席報告>

会員数	32名
出席会員	7名
欠席会員	25名
準会員	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名

2024年11月8日(金)第2057回
「職業奉仕委員会 大飯発電所見学会」
(福井県大飯郡おおい町)

<11月8日(金)の出席報告>

会員数	32名
出席会員	11名
欠席会員	21名
準会員	1名
ご家族・ファミリー会員	2名
ビジター	0名

2024年10月25日(金)第2056回

- 卓話 「地震について」
- 卓話者 堺市 危機管理室 室長 山路 智志 様
// 危機管理課 課長 杉岡 幹敏 様
- 紹介者 会員 國井 豊
- 今週の歌 「四つのテスト」「堺北RCの歌」
「案山子(かかし)」
- お客様の紹介・出席報告・会長の時間・
委員会報告・幹事報告・SAA報告

<10月25日(金)の出席報告>

会員数	32名
出席会員	19名
欠席会員	13名
準会員	1名
ゲスト	2名
ビジター	0名



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーのマジック」

国際ロータリー会長 ステファニーA. アーチック (米国ペンシルバニア州/マクマリーRC)

卓 話(10月25日)

「地震について」

堺市 危機管理室 室長 山路 智志 様

〃 危機管理課 課長 杉岡 幹敏 様

紹介者 会員 國井 豊



○堺市の被害想定（地震）について

堺市では二つの大規模な地震災害を想定しています。直下型地震の「上町断層帯地震」と、海溝型地震の「南海トラフ地震」です。

それぞれ非常に大きな災害ですが、建物の耐震化や家具の転倒防止、家庭での備蓄など日頃の備えにより被害を小さくできます。特に、南海トラフ地震では、地震発生から津波到達までの100分間に東の高台に避難することで大幅に被害を抑えることができます。

○南海トラフ地震臨時情報について

本年8月、気象台から初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。今回発表されたのは「巨大地震注意」です。また「巨大地震警戒」がありますが、堺市ではいずれが発表された場合でも、日常生活を継続しながら、日頃の地震の備えを再確認しすぐに避難できるよう準備することが求められます。南海トラフ地震は、今後30年の間に70~80%の確率で発生するとされています。日頃から地震への備えをお願いします。

○令和6年能登半島地震・現地活動報告について

能登半島地震では、多くの自治体などが被災地支援を行いました。堺市からも多くの職員を派遣し大規模災害の現場で活動を行い、貴重な知見を得ました。被害が想定以上に大きかったため、発災後しばらくは、上下水道が使えないなど避難所の衛生環境も悪く、インフルエンザ等の感染症も蔓延しましたが、日が経つとともに避難所の環境改善が進みました。また、避難生活が長期化するとフレイル予防や心のケアが必要となり、お茶会を開催するなど様々な支援を行いました。

日頃から地震に備え、発災時に的確に行動すれば、大規模地震の被害を抑えることができます。

「堺市公式ライン」や「大阪防災アプリ」などの活用をお願いします。

会長の時間 (10月25日)

会長 畑中 一辰



山路様、杉岡様本日の卓話宜しく
お願い致します。

南海トラフ地震に備えて色々勉強させて頂きます。本日は宜しく
お願い致します。

嬉しい知らせがあります。本年度の地区補助金が承認され、今月末にも入金される予定です。この地区補助金で、今年度単年度奉仕事業の「施設の壁と床プロジェクト」をスタートさせていただきます。単年度計画ですので今期中に実施致します。澤井工務店澤井会員、安全で怪我の無い施設への改造工事宜しくお願い致します。

昨日10月24日は、世界ポリオデーとなっております。ポリオ撲滅に向けて各ロータリークラブは取り組んでおります。皆さんのお力添えも宜しく
お願い致します。

今月は、本日最後になりますが、大阪府母子医療センター向け寄付をお願い致します。来月は、元米山奨学生オアンちゃんの結婚をお祝いしてのお祝い金及びダナンでの結婚式参加の募集を致しますので宜しく
お願い致します。

11月3日の仁徳天皇陵の清掃活動、4日の清心寮のバーベキュー奉仕です。お願いばかりですが各奉仕活動宜しく
お願い致します。

私事ですが、病気が発症してから1ヵ月になります。リハビリを兼ねてゴルフ3回行きましたが、スコアが無残な・ボロボロです・

19日100、21日108、22日109とだんだん悪くなりました。

やはりお酒を飲まないで廻るゴルフはダメですね・・お酒を飲みながら廻らないと90台は出ないようです。

左手の握力が無くなっているの、右手でプレーしているようで、右手の肘が痛くなって内出血してしまいました。

100叩き越え3回で罰金入れておきます。

明日もゴルフなのですが遂に110の王(百獣の王)を超えそうな勢いです。

委員会報告

広報委員会

「ロータリーの友 10月号 ご紹介」

広報副委員長 中川 澄



横組み P22 カルガリーへの誘い
モーキンスツイスへ！

来年6月に開かれる国際大会の舞台はカナダのカルガリー。カナダ西部（というより、地図を見ると南西部）に位置するカナダで4番目の都市です。カルガリーの歴史は、何世紀にもわたって先住民が集まってきた場所を北西騎馬警察が砦とした1875年に始まったとのこと。

夏は涼しいらしく、調べてみたところ、20年ほど前の統計になりますが、カルガリー国際空港の6月の平均最高気温は19.8度、平均最低気温は7.5度だそうです。

美食の楽園だと触れ込みで、カルガリーは「カウタウン（牛肉の町）」と呼ばれており、牛肉のステーキがおすすめだそうです。

横組み P34 タイ・コーンケン市に防火衣寄贈へ（京都北東RC）

タイのケンケンロータリークラブと姉妹クラブにあることから、過去にコーンケン市の児童に自転車や本や書架の寄贈をしたりしてきたが、今般、京都市、同市消防局との協力の下、防火衣を寄贈したとのこと。

縦組み P65 風災の地で生きる

2019年9月9日に襲来した台風により甚大な被害を受けた南房総に住む方と、援助を続ける方々の物語。暴風被害で家が壊れ、車が壊れ、停電し、その後起こったカビの大発生。援助の在り方を考えさせられました。

社会奉仕委員会

「仁徳天皇陵清掃活動」・

「清心寮 ふれあいバーベキュー大会」のご報告

社会奉仕委員長 澤井 久和



11月3日(日)「仁徳天皇陵清掃活動」、11月4日(月・祝)「清心寮 ふれあいバーベキュー大会」と両日お忙しいところ出席していただき、誠にありがとうございました。

天気の方も心配しておりましたが、両日共、天気に恵まれ、行事を行なえた事、感謝しております。

次第です。また両日のために準備していただいた会員の皆様ありがとうございました。

仁徳天皇陵清掃活動には、会員、ご家族、ファミリー会員、併せて21名と、ガールスカウトの8名の皆さんにもご参加いただきました。

翌日のバーベキュー大会には、清心寮の子どもたち31名と職員の方々13名、クラブ会員、準会員、ご家族、ファミリー会員併せて21名、総勢65名の大BBQとなりました。

本多会員の自衛隊員のご息もお手伝いいただき、また本多会員、田原準会員には子どもたちにスーパーボールすくいやヨーヨー釣り等もご準備いただき、子どもたちの笑顔が絶えませんでした。ファミリー会員の松岡さんから今年も美味しい焼肉のタレを大量に持ってきてくださり、嶽盛会員からはお米をいただき、そのお米を早朝から炊き、108個のおにぎりを握ってくれた事務局の坂上さん。買い出し準備に塩見会員、中田会員、池永会員もありがとうございました。BBQに於きましては清心寮の子どもたち、職員の方々とお話できて、色々考えさせられ、勉強になりました。又、次回もこの様な笑顔になる行事をできることを楽しみにしております。

2日間本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

職業奉仕委員会

「大飯発電所見学会のご報告」

幹事 藤永 誉



「チュン チュン・・・」ピリッとした空気の静寂な早朝に数羽の雀の声が響き渡り、私の目を覚ましてくれた。

今日は、みんなで福井県の大飯原子力発電所への見学と日頃からの疑問に決着をつける日だ。

ワクワクしながら身支度をはじめました。

朝の堺東駅は、活気があり1日の始まりをポジティブな気持ちに切り替えてくれる。

集合場所に到着したらバスはすでに配車済み50人乗りの大型バス、今日の参加者は15名余裕の空間で移動を楽しめると即座にイメージすることができた。

関西電力のご担当者様が一人ひとりの証明書と登録の名簿を照らし合わせる。これには事務局の坂上さんが数か月前から入念にチェックし参加者のみなさんに何度も確認していただきました。おかげさまで誰一人として相違なく、バスに乗り、時間通りに出発することができ

ました。
バスの費用は関西電力様のご負担で運行していただきました。今回ご参加いただけなかった方も10~40名の団体で見学会を開催していただけるようですので是非。

朝の高速道路は、そこかしこで渋滞が発生する大山崎ジャンクション(京都)を通過したときは、すでに堺を出発してからおよそ1時間半が経過していた。この時点で、行程表どおりに目的地にたどり着けるのか不安がよぎる。

発電所には飲酒での入場が規制されているため車内では飲酒していないため、いつものバス旅行とはちがい次のパーキングでのトイレのための停車を要望する人はいませんでした。

バス車内では、原子力発電の基礎知識のDVDが放映され、主に東北大震災以降の安全性の向上と環境への低影響の内容、再生可能エネルギー(太陽光や風力)と火力発電との比較も教わりました。

原子力発電は、核燃料の分裂によるエネルギーで蒸気を発生しタービンを回して発電機で発電します。蒸気は海水で冷却され水に戻り循環されます。

そこで出た高レベル放射性廃棄物の処理については現在「地層処分」が有力となっており、地下300mにキャスクという遮蔽材の容器に入れ安全に保管します。など、初めて聞くような内容もあり、とても勉強になりました。

予定通り京丹波のパーキングエリアに到着。出発時刻は9:05との車内放送が流れた。まるで道の駅のようなパーキングで、地元でとれた野菜などが採れたての装いで所狭しと並べられている。丹波の黒豆を躊躇せず手にとり出発時刻も気にせずレジにいらんでいた。十分な休憩時間をとり、一路発電所へとバスは9:07再出発するのでした。

発電所の前に「エルガイアおおい」という関西電力の運営するPR施設に立ち寄り、管制室内の様子を見学しました。そこには、旧施設と新施設が横並びで見ることができ、数多くのモニターとスイッチや計器類は、大型モニターに集約され、一目瞭然の見やすい環境へと変貌を遂げていました。また、地震や津波の災害による電力喪失を想定した訓練の様子も動画にして公開していました。

別室で銅(あかがね)さんという女性が原子力発電の概略と発電所見学の手順を大きなスクリーンで説明していただきました。

ここから約10分バスを走らせ、若狭半島の大島

にかかる橋を渡り、大飯原子力発電所に到着。バスを降りて建物に入ってすぐのホールで証明書と登録した名前、住所、生年月日、顔を再度チェックしてくれます。ここでも全員照合できましたので見学ルートへと進むことができました。こちらでご案内していただいたのが、さきほどの銅(あかがね)さんの妹さんの重田さんでうりふたつの人物の登場に驚きたかったのですが、銅さんがエルガイアおおい出発時に、タネあかしをしてしまっていたので少し残念な気もしました。

発電所内は、携帯電話、カメラやテロ対策として手荷物の持込ができませんので、ホール横のロッカーに預け、見学専用バスに乗り込みます。その出発前にもバスの席についた全員の首から下げた入場証をCMでよく見るヘルメットを装着した制服姿の警備会社の人一人ずつ機械で読み取り照合を行い、敬礼をしてバスを降ります。扉がプシューっと閉じ、ようやくバスの運転士は、クラッチを踏み込みます。

大飯原子力発電所は、1,880,000 m²の敷地(甲子園約50個分)に1号機から4号機まであり、1、2号機は廃炉工事が進められていました。稼働中の3~4号機があり、それらは並列しており、その前の道路をバスで通過します。建物は全体的にベージュ色にしてあり、廻りの緑と調和するようにしているそうです。

施設内の様子は、VR(仮想現実)で中に入った感覚で設備を見ることができます。何箇所かでバスは停車し、そのVRをメガネのように顔にあて、説明を聞きながら各施設内の様子を360°顔を傾けた方向で見ることができます。

バスの中のDVDやエルガイアおおいでのスクリーンのイラスト表示であった施設がシースルーで実物が見られる感覚です。

発電所最北端まで進むと日本海を一望できる燃料冷却用の海水を給水、廃水する施設に到着します。ここで一旦下車し、外の空気を味わえます。この日は、とてもいい気候で空気も澄み渡り、最高の天気で過ごすことができました。

最短ルート約145km離れた東尋坊の半島を肉眼で見ることでもできるくらいでした。

バスは構内を一巡し、出入口ゲートでまた、警備会社の人バスに乗り込み、一人ひとりの入場証を機械で照合します。バスを降り、ホールに戻って質問にお応えいただきました。

Q. 燃料冷却用海水は7°C上昇して海に放出され、2km沖で通常の温度に戻ると説明がありましたが、

その海域での生態系の変化は？

A. 放出された海水は、近海で温度変化はほぼありません。年に2回水温調査をしており、釣りに来られる方は危険なので、関西電力が周辺の漁業権を獲得しております。

Q. かねてから疑問に思っていたのですが、山中にある高压送電線の塔は、どのようにして建てているのですか？

A. ヘリコプターで運びます。資材、重機などをヘリ輸送して建てます。

Q. 高速増殖炉「もんじゅ」によるプルサーマル計画は、頓挫した？

A. プルサーマルとは、原子炉で使用した後の使用済燃料を再処理して取り出したプルトニウムとウランを混ぜた燃料を、現在の原子力発電所で使うことで実施している所は、現在ありません。

Q. 送電線を通して遠方に配電するとどれくらい目減りするのですか？

また、空気中を送電する技術があると思いますが、やっていますか？

A. 送電時に目減りする割合は、今提示することができませんが、50万ボルトに変圧した電気を開閉所に送り、送電線で送るのが一番効率が良くとされています。携帯電話のように電磁波に変換することで空気中を送電することは可能と考えます。

Q. ウランの原料は、どんなものなのでしょう？岩みたいなもの？ほぼ輸入とのことですが、国内では採取できない？

A. 鉱石で、ウランにも種類があって233や235があります。岡山県の人形峠で採れるが量的な効率が悪くコストがかかるため輸入している。

Q. 核融合は、実現可能か？

A. 技術的に困難と思われれます。

Q. 燃料デブリの取出しに成功したニュースが出ているが？

A. 今回の取出しはわずか5mm程度ですが、それを研究してどうすれば残りの800トンを取り出せるかを検討しています。

Q. 911 アメリカテロ前に見学に来た時よりセキュリティが厳しくなっている気がします、変化はありますか？

A. 20数年前は顔パスで入場できました。が、何かあるたびにセキュリティが厳しくなっています。

など、多数の質問にお応えいただきました。

報道による情報開示は、一部であり、こういった見学会などで知識を得る動機をつくることは、

電力供給する立場から考えると必要であることが認識できました。

ロッカーから荷物を取り出し、建物前で記念撮影。重田さん（銅さんの妹さん）もいっしょに撮影しました。観光地のように記念撮影用に「塚北ロータリークラブ御一行様」と書かれた看板が用意されてました。

元のバスの席に着き、みんなで手を振って感謝を伝えました。

時計は13時を過ぎており、空っぽになったお腹がキュルルと鳴いていました。昼食は、エルガイアおおいの近くに建つ「ホテルうみんぴあ」の大きな窓から見える海の景色が素晴らしいレストラン「さぼうる」でおいしいコースランチとお酒をいただきました。

国道27号線に面したこちらの施設周辺には、エルガイアおおいをはじめホテルや道の駅など観光地化されていました。昼食を含めて約1時間半の休憩をとり、道の駅で沢山のお土産を購入していました。おおい町は、きのこの産地でお土産の中にはきのこの栽培セット（1200円）が残り2個となっていました。バスが発車するまで買おうか迷っていました。

帰りのバスは、お酒のおかげもあり目を瞑った瞬間にパーキングエリアに到着していました。行きにも寄った京丹波のパーキングで女性の皆さんは籠いっぱい新鮮な野菜を購入されていたようです。

到着予定時間より1時間弱早く到着し充実した1日を過ごされた笑みで「おつかれさま」とお声がけいただき、大成功のもと職業奉仕委員会の今年度最大のイベントは幕を閉じることができました。

親睦活動委員会

「忘年家族例会のご案内」

親睦活動委員長 塩見 守



早いもので恒例の「忘年家族例会」のご案内をさせていただく時期となりました。

会員の皆さま、ご家族の皆さまと一緒に楽しい時間を過ごせますよう、下記の通り、企画、準備を進めております。皆様ご家族お誘いあわせの上、たくさんのご参加をお待ちしております。

記

開催日時 12月21日(土)
場所 大阪 Marriott 都ホテル 20階「茜」
開会 17:30～(受付 17:00～)
会費 会員及びファミリー会員 12,000円
ご家族 10,000円 中学生 8,000円
小学生以下は無料

*尚、12月20日(金)の例会は上記忘年家族例会へ変更させていただきます。

幹事報告

(1) 10月25日配布物

- ・週報
- ・ロータリーの友 10月号

(2) 堺7RC新春合同例会・新春互礼会のご案内

日時: 令和7年1月9日(木)
受付 10時00分～
新春合同例会 10時30分～
新春互礼会 11時15分～
閉会 13時30分～
講演者: 落語家 桂楽珍氏
場所: ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺
4階「ロイヤルホール」
ホスト: 堺中ロータリークラブ
まだまだ先のことですが、ホストクラブの準備の都合上12月6日(金)例会時までにご回答をお願いいたします。

(3) 地区大会のご報告

2024～25年度 地区大会がスターゲイトホテル関西エアポートにて11月16日(土)・17日(日)2日間の日程で開催されました。

初日出席の登録をしたのは、畑中会長と藤永幹事の2名。地下駐車場に車を停めてエレベーターホールに足を運ぶと2640地区ロータリークラブ地区大会の受付が6階であるとわかりやすく表示されていました。

また、その隣の電光掲示板にはその日4階～6階までが各会場になっている旨が記されています。到着時には、すでにたくさんの会員が集まっており挨拶を交わす人たちが溢れかえっていました。

受付のテーブルに行くと高松ガバナー補佐が誘導していただきスムーズに完了することができました。

地区大会の手提げバッグには、

- ・地区大会プログラム冊子
- ・万博前売りチケット案内チラシ

- ・万博開催100日前イベント告知チラシ
 - ・万博関西パビリオン和歌山ゾーンチラシ
 - ・和歌の浦 あしべ庵リーフレット
 - ・和歌山ラーメン味めぐりまっぷ
 - ・和歌山市OMARU活のススメ(観光課発行)
 - ・和歌祭ガイドペーパー(5/12開催済み)
 - ・ロータリークラブの講演録(3月の会長エレクト研修セミナー)
 - ・下敷き?表面 野村ガバナーイラスト 裏面 四つのテスト
 - ・お土産(海苔)
- が入っていました。

今年度地区大会のテーマは「DEIの考え方を学び、実践する」

D…多様性 Diversity

E…公平性 Equity

I…包括性 Inclusion

野村ガバナーは、このDEIの重要性を理解し、実現にむけた活動の推進の必要性を唱えています。

野村ガバナーの点鐘で地区大会が開会されました。

ガバナー挨拶、パストガバナーと地区役員の紹介につづき、大会記念講演が始まりました。

綿引万里子氏(元名古屋高裁長官・弁護士)による「自分の言葉で話そう、コンプライアンス」と題し、ご自身が第三者委員会委員長として検証された日大アメフト部違法薬物事件や電通オリンピック組織委員会などの事例を挙げコンプライアンスと危機管理の重要性をお話いただきました。

つづいて2660地区パストガバナー宮里唯子氏が「日本のロータリーとDEI」についてRIの現状を踏まえDEIの解説と世界と日本の比較をご講演いただきました。

休憩を挟み会場を変え、選挙人会議が行われました。当クラブからは、畑中会長にご出席いただきました。内容に関しては後日会長より報告がありますのでご参照ください。

選挙人会議の時間が約25分延長されたことでパーティが予定時刻より10分遅れて始まりました。円卓が20台、各テーブルに8～10名の席が配置。コース料理のセットがされていました。ガバナーの挨拶のあと、まずアトラクションとして、前東京芸術大学学長澤氏のバイオリンと相愛大京都市立芸術大学講師宮下氏のピアノの演奏が始まりました。

アトラクションは、乾杯、食事の前の方がいいと感じました。音をじっくり感じることで演奏される方への配慮もできると思いました。

聴いたことのある選曲でクラシック、日本の唱歌の演奏を堪能できました。

そのあと料理長から、コース料理の説明がありこれも今後実施していきたいと思いました。今回台湾から野村ガバナーのお招きで26名のご参加があり、パーティ中、席で「かんぺい」の掛け声で盛り上がりおられました。コースの料理も大変美味しく満足いくものでした。約3時間があっという間に過ぎ、終宴を迎え地区大会1日目が幕をおろしました。

翌日、2日目

堺北クラブ9名の参加登録でしたが、残念ながら那須会員、本多会員がやむを得ずご欠席となり畑中会長、池田会員、中田会員、嶽盛会員、笹山会員、平野会員、藤永7名での参加となりました。

野村ガバナーの点鐘で2日目の開会ご挨拶につき役員のご紹介を終え、初日と同じ内容で2660地区パストガバナー宮里氏によるRI現況報告をいただきました。

次の野村ガバナーによる地区の現況報告では公式訪問の際にもお話しておられました。メディアを活用したロータリー活動の告知を次年度北野治義ガバナーエレクトと岡本弥生ガバナーノミニーとの長期計画として実施していくご意向などをお話されておりました。

つづいて、各種表彰の時間がきました。

事前にいただいたプログラムに対象クラブが記載されていたので、堺北クラブの出番が多いことが予想されたので、出席者で順番に登壇しようと話しておりました。が、今大会では「登壇なし」と告知され、とても残念な気持ちになりました。

理由が時間の都合でとのことでしたが、これは、必要な時間であるように思います。

堺北クラブの受賞は

- ・意義ある奉仕賞（仁徳天皇陵周遊路の清掃）
- ・ロータリー財団年次基金寄付優秀クラブ（第1位 \$360.71）
- ・100パーセントロータリー財団寄付クラブ（一番に記載）
- ・「毎年あなたも100ドルを」クラブ（1番に記載）
- ・米山記念奨学金寄付優秀クラブ（2位46,178円）
- ・ロータリー財団表彰者（12名）
- ・米山功労者（4名）

でした。

次年度も皆様の努力が報われますように。

SAA 報告（10月25日）

（会員50音順）

北村勝博会員 “地震について” 山路様、杉岡様、卓話どうぞよろしくお願ひします。先週飲みすぎで、妻から禁酒令が出ました。しばらくノンアルコール。

國井 豊会員 山路様、杉岡様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。

城岡陽志会員 選挙戦、大苦戦中です。よろしくお願ひします。

田口 隆会員 國井さん、元気出してがんばって！

嶽盛和三会員 山路様、杉岡様、卓話よろしくお願ひ致します。

地震、雷、火事、おやじ、やはり地震が一番恐いですネ。

和田広美会員 本日は、山路様、杉岡様ありがとうございます！！防災について今、本当に考える時だと思ひます。今日はしっかりと勉強させていただきます！！

合計18,000円

その他

第5回 定例理事会

2024-25年度理事会構成メンバー

畑中、池永、嶽盛、藤永、鶴、國井、塩見、綿谷、澤井、北村、笹山、中田

（会計監事：池田）

日時 2024年10月25日（金）例会後

場所 南海グリル天兆閣別館4F

議案

1. 10月堺7RC連絡会について
 - ・ロータリー公式ロゴ入りクラブ旗の変更について

まず、堺7RC合同例会で使用する中型・縦型のクラブ旗を新春合同例会までに購入する。

－承認

2. 新入会員2名の入会式日程と会費請求について

・11月22日（金）入会式 予定

再度新入会員2名の予定を確認する－承認

3. 能登 豪雨災害支援について（ガバナー事務所から依頼分）

・発災後すぐに必要物資を集め、不足分の支援

を行ったので、今回の依頼による支援は行わない。 - 承認

4. 2025-2026 年度理事役員について - 承認

5. 大阪母子医療センターボランティア活動支援について

・塩見会員より多額の募金のご協力にお礼の報告

6. 【継続案件】 クラブ細則 改正について

・引き続き検討

7. 社会奉仕委員会「元気いっぱい スマイル プロジェクト」について

・申請していた地区補助金が承認され今月中に入金予定。 - 報告

10月度 堺7RC連絡会 議事録

日時：令和6年10月10日（木）14：30～

場所：ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺

ホスト：堺ロータリークラブ

<議案>

1. 新春合同例会について（堺中RC）

日程は1月9日（木）に決定します。例年通り、昼食はお弁当とし、座席は各クラブを混ぜ合わせるセッティングとします。詳細は次回の堺7RC連絡会で報告します。会費はホテル側と調整して、ほぼ実費負担とします。特別講演については堺中RC杉本岳志会員（桂文五郎氏）から紹介していただくようにしています。

2. 新春合同例会にて掲げるロータリー旗について（堺中RC・継続審議）

ガバナー補佐高松慶暢氏より、10月7日付で野村ガバナーより発出された「ロータリーの徽章について」で2640地区の公式見解が示されました。既にRI理事会ではロータリーの徽章に関する指針があり、それに従ってクラブ、地区は行動する必要があります。再度次回堺7RC連絡会に於いて、各クラブのロータリー旗（新春合同例会及び地区大会等で使用される大判の旗）の統一について同意をお願いしたい。制作金額は¥33,000 ほどです。新春合同例会で使用する旗は135×90で¥22,000、納期は約1ヵ月だそうです。理事会で決定していないクラブは、再度理事会で検討願いたい。各クラブの例会場旗については堺7RC連絡会では関与しない。

ガバナー補佐高松慶暢氏は、また古いロゴが映り込んだ写真、古いロゴを使用した書面等はロータリーの友、ガバナー月信等に掲載を拒否されることがある。とも言われていました。

3. タイ国のノンケーム RCとのプロジェクト

について（堺北RC）

2025年3月3～4日に贈呈式が行なわれるので、各クラブも今後の参考までにタイ国訪問を希望します。詳細は後日連絡いたします。

（現地集合・現地解散）今後の対応として大きなプロジェクトには地区や日本のRCの協力をお願いしたい。

ガバナー補佐高松慶暢氏より今後の奉仕プロジェクトに対して、地区は協力することにやぶさかではない。但し、各クラブへの協力は各クラブの理事会の判断となる。

堺東RCの意見として国際・国内の奉仕プロジェクトに対して、マスコミ関係者にも働きかけて、ロータリーのイメージアップをしたらどうか。

<その他>

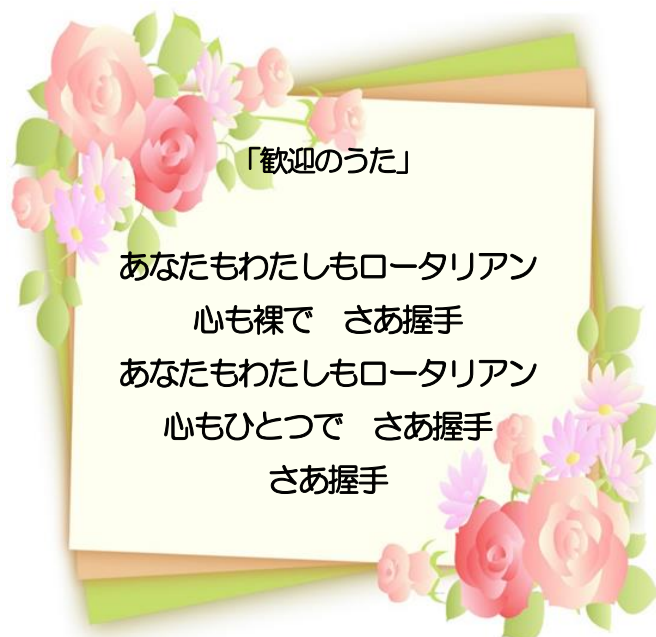
堺中RC：10月20日の堺まつりに、盲導犬のPRの為に、大小路通りで出店をしています。

堺清陵RC：10月20日の堺まつりに、アゴーラポルタス広場に於いて子供パワーフェスタを実施しています。警察音楽隊、元タカラジェンヌの麻樹様が出ます。

堺RC：10月20日の堺まつりに、紀陽銀行の駐車場で堺ローターアクトがバザーを実施します。

堺清陵RC：互輪会は2025年4月16日（水）天野山CCにおいて、60人の参加者の予約を取っています。参加希望者は早く連絡してほしい。定員オーバーとなれば予約人数を増やさなければならず。お早めに願います。

堺おおいずみRC：創立記念例会に多くのロータリアンにご参加の申し込みをいただきありがとうございます。



例会・活動の風景

仁徳天皇陵清掃活動
2024年11月3日(日)



清心寮 ふれあいバーベキュー大会
2024年11月4日(祝・月)於：大泉緑地



子どもたちからお礼の手紙をたくさんいただきました。また当日の子どもたちの元気いっぱいの様子は田原準会員が写真を撮っていただきましたので併せて、例会中、回覧にてご覧ください。

大飯発電所見学会
2024年11月8日(金)第2057回
行先：福井県大飯郡おおい町



地区大会 (大会2日目) 2024年11月17日(日) 第2058回
於：スターゲイトホテル関空エアポート



「意義ある奉仕賞を受賞」

広報委員 池田茂雄

令和6年11月17日(日) 2024~25年度2日目の地区大会において数々の表彰を頂きましたが、その中の一つ「意義ある奉仕賞」についてです。地区から「意義ある奉仕賞・候補事業」としての申出依頼があり、当クラブでは次のような事業を行っていると言う事で推薦依頼書を地区ガバナーに提出していましたが、今回、意義ある奉仕賞を受賞することが出来ました。

今回の「仁徳天皇陵周遊路の清掃奉仕」ですが、十数年前に当クラブの単独事業として意義ある業績賞を受賞していましたが、今回は当クラブが始めたこの事業が周辺連合自治会ははじめ地元学校や各種団体にまで拡大したことが注目され受賞となりました。

①プロジェクトで取り組んだ地域社会における 課題やニーズについて

当クラブ創立から10年余りが経過した当時、何か身近な社会奉仕はないかと協議しながら検討を重ねた結果、堺には、日本国内はもとより世界的にも類を見ない規模の仁徳天皇陵古墳が有ることが目につき、その「周遊路の清掃」が眼に留まりました。そこで同周遊路の清掃を始める事となり、第1回目を1994年12月11日(平成6年)に当クラブ単独の奉仕活動として実施し、その後、毎年、春と秋に実施してまいりました。そのことが地元から注目され始め、堺市当局から、周辺自治会などにも呼びかけて拡大した活動にして欲しいとの強い要請がありました。それを受けて当クラブが発起人となり、周辺自治会の皆さんなどと協議の結果、「仁徳陵をまもり隊」との名称で、今後、この事業を続けて行くことになりました。当クラブが始めたこの奉仕活動が地域の輪となって拡大し、地域に根を下ろした活動になりました。

この仁徳天皇陵古墳は、全長485メートルあり長さでは世界一の古墳です。いつしか世界遺産に登録されるのではとの思いを込めて、「今年こそは！」と期待しながら時が過ぎました。その願いが叶い、5年前の2019年7月6日(令和元年)仁徳天皇陵古墳を含む「百舌鳥・古市古墳群」が、世界遺産に登録されました。その喜びを地域の皆さんとともに味わえたことが大きな達成感となり、今後もこの世界遺産を守りながら、この活動を通じて広がる地域コミュニティの向上を目指して、次世代に継承してまいります。

②プロジェクトの詳細、プロジェクトからの恩恵や地域社会におけるロータリーの公共イメージをどのように向上させたかなど

第1回目を1994年12月11日(平成6年)に当クラブ単独の清掃奉仕活動として、会員、家族や知人など3~40名が集まり、毎年、春と秋に実施してまいりました。このことが注目されはじめていたころ、初回から12年後の2006年4月1日(平成18年)に堺市が政令指定都市となったのを期に、堺市当局から、周辺自治会などにも呼びかけて拡大した活動にして欲しいとの強い要請がありました。近隣の自治会や関係団体、堺市立高等学校等各種学校の生徒さん等、幅広い年齢の皆さんたちに呼び掛けて、これら団体の皆さんで構成する任意団体である「仁徳陵をまもり隊」として生まれ変わりました。活動の輪が大きく拡がり今では毎回400人近い皆さんによって、周遊路の円周2850メートルを手分けしながら、毎年、春と秋に実施しております。数年前にはNHKニュースで放送されたこともありました。

参加団体としては、大仙校区自治連合会、榎校区自治連合会、堺市立堺高等学校、大阪府立堺支援学校、大阪府立だいせん聴覚高等支援学校、仁徳天皇陵墓事務所、堺北ロータリークラブなどです。

2023年10月28~29日(令和5年)に開催された「G7大阪・堺貿易大臣会合」を前にして、堺を訪れて頂ける方々を歓迎すべく、堺市からの要請で10月22日(日)に仁徳陵周遊路の清掃作業を実施しました。

今から30年前、当クラブが発案しクラブ単独の奉仕活動として実施した「仁徳天皇陵周遊路の清掃奉仕活動」が大きく発展し、今では堺地区の大きな奉仕活動となりましたことは、発案者である当クラブにとって大きな着眼であったと思いを新たにしております。